

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	園芸生産環境実験実習Ⅰ [Experimental Study on Horticulture]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	260001	授業形態	実習	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	山口健一／陳 蘭庄／廣瀬大介／長江嗣朗／前田隆昭			学位授与の方針 との関連	DP3(1) DP3(2) DP3(3)		
授業概要	本実習は、花卉、蔬菜、果樹、作物及び環境保全園芸の5分野で構成しています。受講者は各分野をローテーションすることにより園芸作物や主要作物の播種～収穫までの一連の栽培管理作業を学んでいくことを目的としています【知識・技能の育成】。						
関連する科目	園芸生産環境実験実習Ⅱ						
授業の進め方と方法	実習前に各回の実習について、説明を行ったうえで、実習を行っていきます【知識・技能の育成】。随時、プリントなども配布します。						
授業計画	<p>以下の項目について、30回(2コマ×15項目)の実習をフィールドセンターや学外フィールドで行います(順不同)。</p> <p>1. 2. 栽培技術1. 作物の播種と畝立て (廣瀬大介) 作物の播種と畝立てについて学びます。</p> <p>3. 4. 栽培技術2. 麦類の収穫と調整 (廣瀬大介) 麦類の収穫と調整方法について学びます。</p> <p>5. 6. 栽培技術3. 作物の定植 (廣瀬大介) 作物の定植方法について学びます。</p> <p>7. 8. 栽培技術4. (陳 蘭庄) 人工授粉による種子採種プロセスの実践について学びます。</p> <p>9. 10. 栽培技術5. (陳 蘭庄) 野菜の栽培技術・水肥管理・環境制御の実践について学びます。</p> <p>11. 12. 栽培技術6. (陳 蘭庄) 野菜の養液栽培システムの実証・実践について学びます。</p> <p>13. 14. 栽培技術7. (山口健一) 土作りについて学びます。</p> <p>15. 16. 栽培技術8. (山口健一) 施肥方法について学びます。</p> <p>17. 18. 栽培技術9. (山口健一) 病害虫・雑草の防除法について学びます。</p> <p>19. 20. 栽培技術10. 園芸植物の播種およびin vitro植物の順化と鉢上げ (長江嗣朗) 花卉を種子繁殖し、苗物として生産する。また、in vitroで育てた花卉も同様に苗物として生産する。</p> <p>21. 22. 栽培技術11. 鉢物(3号～5号pot)の栽培・維持管理 (長江嗣朗) 3号ポットで栽培されている花苗を鉢替えし、市場に流通できるレベルの鉢物生産を体験する。</p> <p>23. 24. 栽培技術12. 園芸植物のための混合用土の作成とその特徴 (長江嗣朗) 花卉では特に、さまざまな性質の用土を利用する。多くの種類の用土の特徴を理解し、実際にそれらの用土を用いた植物栽培を実施する。</p> <p>25. 26. 栽培技術13. (前田隆昭) 受粉について学びます。</p> <p>27. 28. 栽培技術14. (前田隆昭) 土づくり・施肥について学びます。</p> <p>29. 30. 栽培技術15. (前田隆昭) 収穫について学びます。</p>						
授業の到達目標	園芸植物(蔬菜、果樹、花卉)及び主要作物をのを利用して、基本的な栽培管理方法を学びます【知識・技能の育成】。						
授業時間外の学修	【予習】第1回目に実習内容を示すので、各自でその内容について予め毎回予習を行って下さい(1時間程度)。 【復習】授業ではレポートの提出を課しますので、受講者各自で毎回復習してレポートを完成させて下さい(1時間程度)。 なお、授業の中で不明な箇所等については、随時担当教員に質問して学びを深めて下さい。						
課題に対するフィードバック	提出したレポートについては、担当教員から解説をします。	評価方法			各回毎にレポート及び実習態度・技術習熟度等で採点し、全授業を通して100点満点で評価します。		
テキスト	授業(実験項目)内容に関する資料を随時配布します。						
参考書	関連する参考書・資料を適宜紹介します。						
備考							